

(一般情報)

皆で協力して、耕畜連携について考えよう！

～安房地域の耕畜連携連絡会議を開催～

安房農業事務所改良普及課 令和4年11月14日発

令和3年から続く輸入飼料価格高騰のため、地域の酪農家は経営が非常に厳しい状態となり、自給飼料の確保がより重要性を増しています。一方で水稻農家は生産コスト削減や飼料用米、稲WCS等への転換など、様々な方策を検討しています。そこで農業事務所では稲WCSに取り組む水稻農家、酪農家、コントラクター組織、市町、JA、酪農協等を参集し、稲WCSの需給に関する情報交換と意識醸成を目的に、令和4年度第1回安房地域耕畜連携連絡会議を11月11日に開催しました。

会議には水稻農家の代表8名、畜産農家の代表9名、コントラクター3組織が参加し、「コントラクターがどの時期に余力があるのか知りたい」、「専用品種の種子確保が困難。支援を求む」等の意見がありました。農業事務所ではこれらの意見を参考に今後も会議開催、視察、技術研修会等のバックアップを行い、地域の耕畜連携を進めていきます。



自給飼料増産に向け、今後は先進地視察や稲WCS技術研修会を予定しています。